千葉民医連　講演会

「ずっと居場所がほしかった」

“「助けて」って言えない若者”と“私たち医療者にできること”

講師　女子高生サポートセンターColabo（コラボ）代表

仁藤（にとう）　夢乃（ゆめの）　さん

日時　6月9日（土）
14：30～16：30

参加費　無料

場所　千葉県文化会館
別館聖賢堂　会議室

対象　医療系学生(医学生、看護学生、薬学生、介護学生ほか)
千葉大学生(全学部)・国際医療福祉大学生(全学部)
医療系を目指す受験生・高校生

定員　100名

参加お申込み

※事前申し込み制となります

参加希望の方は事前申し込みをお願いします。
Eメールか電話にて、氏名・学校・学年・連絡先
（電話番号・Eメールアドレス）をご連絡ください。
担当：千葉民医連事務局　秋元、児玉まで
TEL　043-224-7497　　FAX　043-202-5246
E-MAIL　chiba-ishibu@min-iren-c.or.jp
URL　www.min-iren-c.jp

主催　仁藤夢乃氏講演会in千葉 学生実行委員会
後援　千葉県民主医療機関連合会　船橋二和病院　千葉健生病院

○講師紹介

仁藤　夢乃　さん

～プロフィール～
仁藤　夢乃（にとう　ゆめの）
女子高生サポートセンターColabo(コラボ)代表
1989年生まれ。中高時代に街をさまよう生活を送った経験から、女子中高生の支援を行っている。夜間巡回や声掛け、相談。シェルターでの一時保護や宿泊支援。食事・風呂・文具・衣類の提供。児童相談所や病院、警察などへの同行支援。自立支援シェアハウスや虐待や性暴力被害を経験した少女たちの自助グループの運営を行っている。第30期東京都青少年問題協議会委員を務めた。

【著書】
『難民高校生－絶望社会を生き抜く「私たち」のリアル』
（英治出版2013．3）
『女子高生の裏社会―「関係性の貧困」に生きる少女たち』
（光文社新書2014.8）。

○Colabo紹介

～女子高生サポートセンターColabo～
名称：一般社団法人Colabo
代表理事：仁藤　夢乃
設立：2011年5月

すべての少女が 「衣食住」と「関係性」を持ち、困難を抱える少女が搾取や暴力に行き着かなくてよい社会を目指して活動している。
食事や物品の提供や状況に応じた関係機関への同行支援、シェルターの運営を行いながら、中高生を取り巻く実態についての講演活動も行っている。

○後援団体紹介

千葉県民主医療機関連合会
略称：千葉民医連

千葉民医連は、全国組織である「全日本民主医療機関連合会（略称・民医連）」に加盟する、医療・福祉事業所を中心に構成される。全国すべての都道府県にある民医連事業所は、「民医連綱領」にもとづき、地域住民の方々の切実な要求に応え、いのちや健康にかかわる社会問題に積極的に取り組んでいる。
　　また、人権を尊重する医療・福祉従事者の育成に努め、地域医療に関心のある医系学生や、介護職をめざす学生に、さまざまな体験や学習の機会を提供している。
　現在５０余の事業所が３７０００人の共同組織（友の会）の方々に支えられながら、安心して住み続けられるまちづくりを共にすすめている。

○参加に関するご案内

○当イベントにご参加希望の方は、事前にお申し込みをお願いしております。
Eメールか電話にて、氏名・学校・学年・連絡先
（電話番号・Eメールアドレス）をご連絡ください。
※企画当日に身分証明書をご確認させていただく場合がございます。
　身分証明書をご持参の上お越しください。

会場地図

○会場は千葉県文化会館 別館聖賢堂となっております。
下記ご確認の上お間違えないようお越し下さい。
会場名：千葉県文化会館　聖賢堂
住所：〒260-0855 千葉県千葉市中央区市場町11−2
アクセス：JR本千葉駅より徒歩10分　・千葉都市モノレール県庁前駅より徒歩7分

○その他、ご参加に関するお問い合わせやご不明な点等ございましたら
下記までお電話かEメールにてご連絡ください。

～企画に関するお問い合わせ～
千葉民医連事務局　担当：秋元、児玉
TEL：043-224-7497
E-MAIL　chiba-ishibu@min-iren-c.or.jp